

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	藤沢 毅	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	文学修士	職位	教授
専門分野	日本近世文学		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	日本の文学 日本文学史Ⅳ（近世） 日本文学講読Ⅳ（近世） 日本文学講義Ⅱ（近世） 近世文学専門演習 a 近世文学専門演習 b 卒業論文（構想・準備） 卒業論文（制作） 文芸創作入門Ⅱ 尾道学入門 フィールドワーク		
大学院	日本古典文学特講 日本古典文学演習 日本文学・言語文化総論		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）〈著書〉『新局玉石童子訓』 [上] [下]（共著、2000年2月・5月、国書刊行会）			
（2）〈論文〉「『月都大内鏡』の出版」（単著、1997年10月、『国語国文』）			
（3）〈論文〉「近世中期成立通俗軍書の相互関係—立耳軒作品と『太閤真蹟記』『真田三代記』」（単著、1999年12月、『鯉城往来』2）			
（4）〈論文〉「『浪華侠夫伝』序論—後修本からの考察と「水滸伝」臭」（単著、2003年6月、『読本研究新集』第四集）			
（5）〈論文〉「実録『大岡政談』とミステリー」（単著、2005年10月、『日本文学』54-10）			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
（1）〈論文〉「真田幸村は何度死ぬ—『厭蝕太平楽記』における構成意識—」（単著、2012年12月、『鯉城往来』15）			
（2）〈論文〉「和本リテラシー教育の実践」（単著、2013年1月、『日本文学』）			
（3）〈著書〉『近世実録翻刻集』（共著、2013年2月、近世実録翻刻集刊行会、担当箇所は「『厭蝕太平楽記』」）			
（4）〈論文〉「高垣眸作品研究序説」（単著、2013年3月、『尾道市立大学地域総合センター叢書』6）			
（5）〈論文〉「高垣眸作品を読む（一）—『怪奇黒猫組』」（単著、2013年3月、『尾道市立大学文学談話会会報』3）			
（6）〈論文〉「高垣眸作品を読む（二）—『新版大岡裁き 謎の花簪』」（単著、2013年3月、『尾道市立大学文学談話会会報』3）			
（7）〈論文〉「翻刻『山本勲功記敵討』」（単著、2013年3月、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』11）			
（8）〈著書〉『下垣内先生を偲んで—下垣内和人先生追悼文集』（共著・責任編集、2013年3月、尾道市立大学芸術文化学部日本文学科）			
（9）〈論文〉「『鎮西菊池軍記』における『厭蝕太平楽記』（『真田三代記』）」（単著、2013年12月、『鯉城往来』16）			
（10）〈著書〉『翻刻 読本「[皎月／菊花] 大和物語』』（共著・編集、2014年3月、尾道市立大学）			
（11）〈著書〉『翻刻「[復讐／奇談] 信夫摺在原草紙』』（編集、2014年3月、尾道市立大学）			
（12）〈論文〉「翻刻『[和田後編] 英雄義秀伝』（一）」（単著、2014年3月、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』12、39-71頁）（査読なし）			

<p>(13) <論文> 「描かれた異国合戦—『絵本朝鮮軍記』『絵本和田軍記』の挿絵について」 (単著、2014年3月、『あじあ遊学173 日中韓の武将伝』、57 - 67頁) (査読なし)</p>	
<p>(14) <その他・雑文> 「尾道の麺文化—うどん・そばの食文化」 (単著、2014年3月、『尾道市立大学地域総合センター叢書』7、51-68頁) (査読なし)</p>	
<p>(15) <学会発表> 「パネルディスカッション 翻刻の未来」 (共同、2014年6月、日本近世文学会春季大会)</p>	
<p>(16) <その他・研究紹介> 「馬琴研究の現在」 (単著、2014年6月、『読本研究新集』第6集、182 - 192頁) (査読あり)</p>	
<p>(17) <その他・エッセイ> 「翻刻を考える」 (単著、『レポート笠間57 特集 古典を伝えるということ それぞれの立場から—エッセイというかたちで』26 - 29頁)</p>	
<p>(18) <論文> 「『天明水滸伝』序論—神道德二郎年表」 (単著、2014年12月、『鯉城往来』第17号、1 - 15頁) (査読なし)</p>	
<p>(19) <その他・学会発表報告> 「パネルディスカッション 翻刻の未来」 (共著、2015年1月、『近世文芸』101号、49 - 58頁) (担当箇所「報告1 翻刻の理念」) (査読あり)</p>	
<p>(20) <論文> 「翻刻『[和田後編] 英雄義秀伝』(二)」 (単著、2015年3月、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』13、 - 頁) (査読なし)</p>	
<p>現在の研究テーマ (3つまで)</p>	
<p>(1) いわゆる「二流読本」の再評価</p>	
<p>(2) 実録『天明水滸伝』の翻刻と評価</p>	
<p>(3) 読本『俊傑神稲水滸伝』の評価</p>	
<p>研究テーマの進捗状況</p>	<p>(1) については、研究会活動などを通じ長期的に行っている。 (2) は平成26年度の1年をかけて、国立国会図書館所蔵本を仮に翻刻した。ただし、国会図書館本が最善本ではなかったことが判明したため、今後は諸本調査とともに、善本の翻刻が必要になる。研究としては、「『天明水滸伝』序論—神道德二郎年表」を発表し、基礎を築いた。 (3) については、三原市立図書館蔵本初編から第二八編までのコピーを購入した。また、国会図書館や国文学研究資料館を利用することにより、書誌学的な考察をなし、さらに『鎌倉管領九代記』『後太平記』等の資料との比較によって、基礎的な研究をなし、論文「『俊傑神稲水滸伝』序論」なる論文を書き終えた (投稿中)。</p>
<p>学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績)</p>	
<p>所属学会・所属団体 役職等</p>	
<p>日本近世文学会、上智大学国文学会、広島文教女子大学国文学会、尾道市立大学日本文学会 (会計監査) 西日本近世文学研究会、広島近世文学研究会 (研究会誌『鯉城往来』編集委員)、読本研究の会 (研究会誌『読本研究新集』編集委員)</p>	